

福岡市立内野小学校父母教師会

〒811-1123 福岡市早良区内野8-1-15
TEL 092-804-2207

1 会員数及び会費（平成21年度）

区分	P会員	T会員	計
会員数	303人	30人	333人
1人あたりの会費（年間）	6,000円	6,000円	

2 収支決算（平成20年度）

収入の部	会費収入 1,935,500円 繰越金 476,836円	その他の収入 8,862円	収入合計 2,421,198円
支出の部	費目	支出額	摘要（主な使途）
	運営費	302,397円	・会議費 ・教育奨励費
	委員会活動	550,128円	・需要費 ・負担金
	周年行事積み立て金	100,000円	・活動費 ・事務補助費
	その他	1,057,016円	・研修費 ・交通費
	繰越金	411,657円	・渉外費 ・講師招聘費
	支出合計	2,421,198円	・慶弔費 ・消耗品費

3 設けられている会則、運営規則、会計規則

会則などの名称	制定・改正月日	要旨
福岡市立内野小学校父母教師会規約	昭和56年4月1日改正	
福岡市立内野小学校父母教師会規約	平成15年4月1日改正	

4 発足から今日までのあゆみ

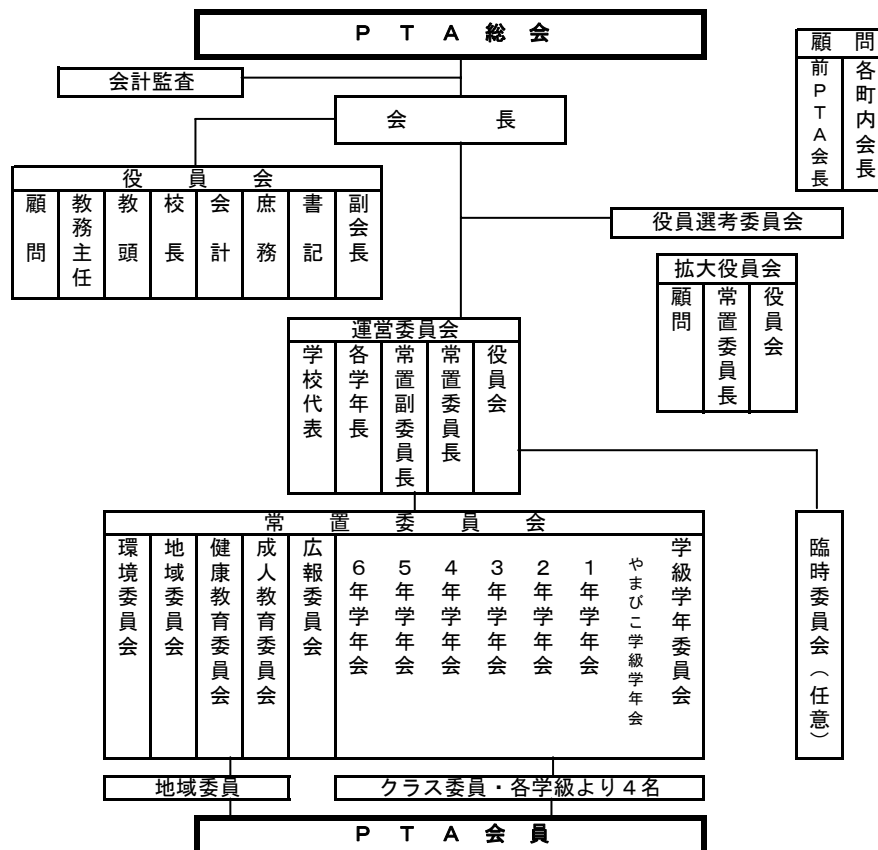
年・月	P T Aの沿革（活動のトピックスのみ記載）
明治21年	西尋常小学校開校
明治26年	内野尋常小学校に改名
平成1年	創立100周年記念事業開催
平成13年	創立110周年記念事業開催
平成16年	福岡市P T A協議会表彰受賞
平成17年	九州ブロックP T A協議会表彰受賞
平成18年	日本P T A全国協議会表彰受賞
平成19年	福岡市教育委員会表彰受賞
平成20年	福岡市P T A協議会表彰受賞
平成21年	創立120周年記念事業開催
平成21年	優良P T A文部科学大臣表彰受賞

5 地域の概要

本校は、福岡市の南部に位置し、まわりを背振山、荒平山、油山等の山々にかこまれ、学校の傍らには八丁川が流れている。春は竹の子、夏は清流に輝くホタルの灯り、秋は黄金色の稲穂が揺れるあぜ道に深紅の彼岸花のコントラストが美しく、冬は一面の銀世界になる。水清く、四季が織りなす自然の色彩に恵まれた地域にある。本校は、明治21年西尋常小学校として誕生し、平成21年度に創立120周年を迎えた歴史と伝統のある学校である。現在は、子ども達に携わる校区の組織として、PTAの他にもやじの会、子ども会、民生委員、公民館、人尊協、自治連合会・協議会、青育連、老人会、読書ボランティア等多数あり、各組織がそれぞれ独自の活動をしながら、お互いが協力・連携して、目指す目標は子ども達全てを健全に育成していくことだと考え、各行事や活動に取り組んでいる。

6 組織運営の状況

本校PTAは、会長1名、副会長3名、書記2名、会計1名、庶務1名、学校長、教頭、教務主任、顧問からなる役員会と、運営委員会（各常置委員会委員長・副委員長・各学年長、学校代表）常置委員会で構成されている。毎月1度の役員会、運営委員会、各常置委員会の定例会を開催し、連携がとれた有機的な組織運営を図っている。



7 広報活動の状況

広報委員会は、各行事等取材活動をし、年4回広報誌「うちの」を発行している。行事によってはポスター・立て看板を作成、地域委員が各町内に掲示し広報活動を行っている。役員会は毎月の運営委員会の後運営委員会便り「せんだんの木」を発行、活動報告とともに、行事・活動への参加協力を呼びかけている。各常置委員会は活動によって「委員会便り」を発行。学級学年委員会は参観、懇談会の後に学年会を持ち、「学年便り」を発行し、出席できなかった会員のためにも、懇談会または学年・クラスの様子がわかるように知らせ、次回出席を呼びかけている。

8 学校教育の理解及び家庭教育に関する活動状況

委員会主催の講演会、研修会、懇談会、バスハイク、給食試食会等を計画的に行っている他、地域諸団体との合同講演会、市民センターの研修会・講演会、公民館の家庭教育講座等に積極的に参加し学習活動を行っている。早良中学校区学力推進ネットワーク（SGN）があり、家庭学習支援マニュアルを作成・配布している。21年度六校連絡会時には研修会を行う等、小学校4校と連携し家庭教育力を高めるために活動している。

9 成人教育に関する諸活動の状況

成人教育委員会は委員研修会、講演会を計画実施、市民センター等の研修会に参加。また、校区人尊協と連携し人権の集いを開催。ポスター・標語を幅広く募集して掲示、講師を招いての講演会、地元幼稚園・保育所・中学校による出し物、小学校児童による人権劇等で人権について学び考え、啓発を行っている。

10 児童の学校外生活の指導に関する活動状況

各委員会による登下校指導と、毎週月曜日には各クラス保護者があいさつ運動実施、児童の安全見守りを行っている。地域委員会は地域の協力により子ども110番の家の見直しと、全保護者家庭に腕章を配布して、来校時の携帯はもとより見えるところにつけてパトロールすることにより防犯に役立てている。全児童に防犯笛の配布と「防犯ブザー携帯中」シールをランドセルに貼付義務付けすることにより、防犯意識を高めている。また、青色パトロールカーの常駐にともない、民生委員の協力により下校時のパトロール強化を実施し、防犯抑止力となっている。内野校区青少年育成連合会・中学校青少年育成連合協議会・PTAにより夜間パトロールを実施する等、各種団体と連携協力して活動している。

11 地域の教育環境の整備に関する活動

地域委員会が中心となり地域懇談会（2～3町内合同）を開催して、学校・家庭・地域が情報、意見交換の場を設けている。それをもとに「子ども110番の家」「安全・安心マップ」の作成参加、配布する等、児童の環境の安全と健全育成に努めている。地域委員は各町内子ども会から選出構成されているが、友愛セールの商品収集搬入等に協力している。また、学級学年委員会はPTAネットワークを作成し、保護者間で密に連絡が取れるように工夫している。子ども会育成連合会とPTAとの連携協力を目指し定例会に相互出席し、相互の行事に参加するなどして子どもを取り巻く環境整備として共通認識のもと活動している。

12 今後の課題

今後ますます、PTA・子ども会育成連合会・おやじの会・その他、地域諸団体と協力し、連携を深めて活動していくことが必要である。しかし、子ども会に加入しない子ども達の数が増えてきていることなどが（加入率は82%）今後の課題である。今後も、会員がまず関心を持ち、理解・協力していける活動内容を考え「全員参加のPTA」を目指していくことが必要である。